

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 大和しらかし会 児童発達支援事業 松ぼっくり		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 18日		令和7年 9月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	令和7年 8月 18日		令和7年 9月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんの発達に合わせた、個別的な支援の検討、実施をしています。	・療育後のフィードバックを実施し、情報や現状を共有しています。 ・支援方針についての検討会議をしています。 ・必要に応じてケース検討を実施しています。 ・必要に応じて心理士のコンサルテーションを受けています。	・コンサルテーションの結果を踏まえ、環境設定や支援の方法について検討しています。 ・研修や日々の業務の中で人材育成に努めています。
2	・ご家族と共に参加していただき、具体的な支援について、説明し、ご家庭に持ち帰れるようにしています。	・家庭生活や、幼稚園、保育園での生活についてお話を伺うようにしています。それらの情報をもとに、家庭生活、園生活に取り入れられる支援を心がけています。	・ご家族との情報交換や支援、発達のプロセスなど多角的に見ることが出来るような人材育成に努めています。
3	・関係機関と連携し、お子さんにとって分かりやすい支援を共有しています。	・関係機関への訪問や、情報交換などを行いながらお子さんにとって分かりやすいシーンを共有して行けるように努めています。	・関係機関への訪問だけでなく、当事業所へ足を運んでいただき、実際の支援を見学していただけるよう努めていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・午前中の療育時間であり 幼稚園、保育園をお休みでの参加となることや、保護者に仕事の調整をしていただくことが必要になることが課題であると、考えています。	・多機能型であるため、午後は放課後等デイサービスを実施しています。そのため午前中みの時間枠となっています。 ・保護者の家庭生活がベースであり 保護者の参加が必要であると考えるため 親子での参加としています。	・幼稚園、保育園のカリキュラムを考慮し、ご利用曜日をご家族と検討して決定して行きます。 ・幼稚園、保育園をお休みしていただくことには変わりはありませんが、継続した療育を提供できるよう、振替のご利用を提案しています。
2	・非常災害時の対応や避難について出入口の狭さや段差があることは検討や工夫が必要だと考えています。	・事業所として使用している建物が一般家屋であることで改築などが難しいと考えています。	・建物の変更等は難しいため、段差や高さ、狭さなどに工夫や検討をし、避難時の行動についてご家族にも周知していくよう努めていきます。 ・来年度も療育中に親子での避難訓練を実施していきます。
3	建物構造が課題だと考えます。建物自体が木造戸建てのため、夏の暑さや冬の寒さが厳しい現状です。	断熱フィルムや、すだれ、サーキュレーターなどを使用していますが、効果を感じにくいです。	・今後も情報を取り入れながら、少しでも過ごしやすい環境へ改善していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業 松ぼっくり

公表日 令和 8年 1月 15日

利用児童数 令和 7年 9月 5日 26名 回収数 15人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	5			・工夫されていると思います。運動遊びなどで本 当は、別スペース（部屋）などがあると、よりよ いのかな・と思います。 ・机・イスの高さが合っており、足がつかない まま自由遊びをしている時もあります。	・今後も、人数と環境調整をしながら、危険 の無いように支援を行っていきます。 ・適したサイズの机であそべるように、目印 などをつけて誘導していきたいと思ひます。	
	2 職員の配置数は適切であると思ひますか。	13	2					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になって いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思ひますか。	11	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になって いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思ひますか。	12	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思ひますか。	13	1		1	・子どもの好きなことに気付き、どんどん アップデートしてくれている。 ・絵カードが具体的な活動と合っていない時が あり、それは少し気になります。	ご意見ありがとうございます。今後はお 子さんに分かるような絵カードを準備し ていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思ひますか。	15						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 ひますか。	14				1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思ひますか。	12	1			2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思ひますか。	14	1				4月からのスタートなので、ここからま た個別的な計画になっていくと思ひてい ます。	療育の中でお子さんを見ながら、個別 的な計画を作成してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思ひ ますか。	13		1		1		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子ども と活動する機会がありますか。	7	1	3		5	支援の提供としてあるかは、分からない のですが、通園しているので、園の子供 たちとは交流があります。	保育園や幼稚園に通っているお子さん たちが通所しているため、特別なプログラ ムはありません。地域の保育園、幼稚園 と必要に応じて連携をしていきます。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	15						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	13	1			1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思ひますか。	14				1	とても頼りにしている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				1	勉強になることばかりで、特性もよく理 解して下さっているの、家でも実践で きるが多い。	ありがとうございます。今後もご家庭 でも実践できるような支援を行っていき ます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思ひますか。	14				1		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	1	1	4	我が家では利用していないので分かりません。	・懇談会を実施しています。 ・お父さんの会が、2か月に1回あります。お知らせを掲示しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	1	2		法人のホームページで発信しています。お子さんの活動の様子も併せて発信しております。今後も継続していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			3		契約時に、マニュアルについては入り口に設置していることをお伝えしていますが、内容については十分に説明ができていませんでした。今後お伝え出来るように努めていきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	4		4		来年度は回数を増やすことを検討していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2		2		安全計画については、入り口に閲覧出来るように、ファイルを設置していく予定です。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	3		3	子どもの不注意で、頭をぶつけた時、速やかに冷却して下さり、電話でも様子を聞いてくれた。	ご家族の方に一緒に参加して頂いているので、その場で対応しております。今後も、迅速に対応するように努めていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				先生の名前を覚え、身の周りの出来事をよく話している。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	2			来ることを嫌がることはなく、進んで行くとする。	ありがとうございます。今後も安心してご利用して頂けるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1		1	親子でその子に合った支援を学び、先生方のお借りして成長したいと、これからも期待しています。	ありがとうございます。今後も個々のお子さんに合わせた支援をしていけるよう、努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業 松ぼっくり				公表日	令和 8年 1月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・1ヶ所に人が集まらないように工夫している。 ・6組の親子がたいように居ると、せまく感じる ので、なるべく時間を分けるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		・曜日やお子さんの様子によっては、職員数が足りていない。 ・+aの職員がいるとより良い場合がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		バリアフリーについては建物の構造上むずかしいため、踏台などで高さの調節をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日、掃除機をかけたり、玩具の消毒を行っている。 ・洗面台は高さがあるので、台を使用している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	部屋数が少ないため難しい。パーティションで区切って個別対応をしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎日、振り返りを行っている。	理解力と実行力は別物であり、全ての人材が出来ているとは限らない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		随時、行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	本部がうけた内容を伝達され、改善につなげている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月に1回程度、所内研修を行ったり、ケース検討を実施している。		
適切なサ	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		毎年、アンケートを実施している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援検討会議を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		一覧表にまとめ、共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		月1回、職員会議で立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		その日中に、打ち合わせはできているが、次週の提供時に、共有しきれていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に1回行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて、保育園、幼稚園と連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	対象児が居ないため。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	かけはしファイルの作成。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		心理士にコンサルテーションを願ひし、助言を受けるようにしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・対象児が居ないため。 ・併用しているお子さんがほとんどのため、事業所と園との交流する機会はない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		母子同室のため、その場で共通理解を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		氷山モデルについての勉強会を実施している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		アンケートを取っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		母子同室のため、来所時は、保護者の話を聞き、助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	懇談会を実施している。	きょうだい児同士での交流の機会はない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		必要に応じて、面談を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		①月の予定表に勉強会や面談などを記載している。 ②HPIに活動の様子を定期的に載せている。 ③法人の会報を発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	法人としてまつりを実施。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・月に1回避難訓練の実施（職員）している。 ・グループ内でも年1回実施（利用児）している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	摂食する機会がほぼないため。アンケートで保護者には確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		KYレポートを実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・避難訓練に保護者も参加していただいている。 ・契約時に説明をしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・3月に法人全体で実施している。 ・所内でも研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	対象児が居ないため、個別支援計画への記載はしていません。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 大和しらかし会 放課後等デイサービス 松ぼっくり		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 18日		～ 令和7年 9月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年 8月 18日		～ 令和7年 9月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童の興味関心、将来必要なスキルなど、個々に合わせた支援を実施しています。	・ご家族へのアンケートや、受け入れの確認などからお子さんの状況などを共有しています。それらをもとに、意思やニーズにお応えして行くように努めています。 ・支援方針について会議を実施しています。 ・ケース検討を実施しています。	・支援方針会議やケース検討を実施し、その中で発達や支援がどのようにつながっているか検討していけるように進めていきます。 ・研修や、心理士のコンサルテーションを活用し、日々の療育を充実させていきます。
2	・集団が苦手なお子さんや、継続した支援の必要なお子さんに対して必要な対応をしています。	・時間や環境、頻度などを個々のお子さんの状況に合わせて、提供しています。	・家庭や、学校などと連携を図りながら進めていくよう努めていきます。
3	・ご家族への支援（相談や具体的な支援の方法）がより充実していくよう、取り組んでいます。	・家庭生活や、小学校での生活について得た情報をもとに、家庭生活に取り入れられる支援を心がけています。	・ご家族との情報交換や、将来必要なことについての見直しなど、きめ細やかに明確に伝えられるようつとめていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・継続して支援していくことの必要性を感じています。	・1年生以外のお子さんを月1回の頻度で設定しているためだと考えています。	・継続した支援の実施のために、どのような方法が考えられか検討を進めていきます。
2	・保護者との情報交換や、活動のフィードバックの時間が十分に取れていないと感じています。	・活動時間内にフィードバックを実施しているため、情報交換をする時間を作ることが難しいと考えています。	・必要に応じて、電話や連絡帳などを活用したやりとりを実施していきます。
3	・非常災害時の対応や避難について出入口の狭さや段差があることは検討や工夫が必要だと考えています。	・事業所として使用している建物が一般家屋であることで改築などが難しいと考えています。	・建物の変更等は難しいため、段差や高さ、狭さなどに工夫や検討をし、避難時の行動についてご家族にも周知していくよう努めていきます。 ・来年度も療育中に親子での避難訓練を実施していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 松ぼっくり				公表日	令和 8年 1月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・1つの部屋に密集しないように、場を分けている。 ・全員が同時にたいように居るとせまく感じるので、時間を分けるようにしている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日、掃除機をかけたり、玩具の消毒を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	部屋数が少ないため、難しい。パーティションで区切って個別対応をしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		随時、行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	法人で受けた内容で、改善につなげている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月に1回程度、所内研修を行ったり、ケース検討を実施している。			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		毎年、アンケートを実施している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援検討会議を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		一覧表にまとめ、共有している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		年に1回会議をして立案している。			

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・必ずではない。 ・職員の勤務時間外になってしまうため、当日に振り返りを行うことが難しいときがある。 ・当日振り返りをする時間がないときには、次回の打ちあわせのときに、全員で振り返りもできたらよいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に1回行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		選択肢を提示するなどの機会を提供している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて、小学校、学童などと連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	送迎がないため。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	児童発達支援事業も行っているため、持ち上がり利用児が多く、対象児が居ない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	4年生までの受け入れなので、対象児が居ない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、研修の実施している。 ・心理士にコンサルテーションをお願いし、助言を受けている。 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	他事業所職員が参加し、情報を共有している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に伝え合い、共通理解をするようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・法人の勉強会など実施している。 ・事業所では行っていないが、研修の情報提供を行っている。 	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			必要に応じ、面談や助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1		懇談会を実施している。	きょうだい児同士での交流の機会はない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			苦情に対して職員間で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回程度HPを更新している。 ・お知らせなどはLINEを活用している。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			個々に合わせたコミュニケーション手段を考えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			松風園まつりの実施し、地域の小中学校の参加やボランティア受け入れている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			マニュアルは策定しており、ご家族が随時閲覧できるように設置しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> ・職員の非常災害時の出勤練習を1年に1回、実施している。 ・月に1回避難訓練を実施（職員）している。 ・グループ内でも年1回実施（利用児）している。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		外食や調理のプログラムのときは、アンケートや来所時にご家族に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害時の避難場所までの経路と、場の確認を、外出プログラムにあわせて行っている。 ・KYレポートを実施している。 	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		懇談会時に、ご家族にも避難訓練に参加していただいている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			ヒヤリハットと対策を記録し、職員で情報共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体で人権研修を実施している。 ・所内でも研修を行っている。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2		現在、身体拘束が必要となる児童はいない。身体拘束について研修中や、非常時で必要ときには、職員間で話し合いをしている。		

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 松ぼっくり

公表日 令和 8年 1月 15日

利用児童数 年月日 令和7年 9月 5日 64名

回収数 22

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	3			活動中、休憩中のお部屋がちゃんと別れている	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21			1	メインで課題の説明をする先生と補助で付いている先生がいる体制で行っていることが多いと思うので。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2			部屋に名前がついているので区別しやすいと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1			目隠しやスケジュールを手作りされていて、家でも真似したくなります。	
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1		1	・相談事も適切にアドバイスを頂けるので安心して任せています。 ・帰りに丁寧に活動内容や子供の様子を伝えてくれています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1	都度しっかり説明があるので安心します。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21			1	なるほどと思うような活動があったりします。将来を見据えた活動をしていると思います。	お子さん一人一人に合わせた支援や、将来必要になるであろうスキルの獲得を考慮し、個別支援計画の作成に取り組んでいます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			1	必要に応じてお願いすれば学校や家庭を見に来ていただけるので助かります。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22				カリキュラム以外の面白いプログラムを選択参加できるので、子供の興味がある内容を希望することができ、とても良いです。	今後も特別なプログラムであっても参加されるお子さんの発達状況に合わせて、個々にねらいを持って活動の設定をしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			1	学習や遊びの面で子供の特徴をしっかり見て頂けているので、新たな提案から楽しみながら取り組む課題を与えていただいたりしているので、子供が行くことを楽しみにしています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	4	6	7	・子供同士での交流は内部がメインですが、イベント等の案内はあります。 ・地域の他の子どもと活動する機会はありません。 ・活動の一環としてはないと思います。	・個々の狙いに応じた支援をしています。 ・地域のお店での買い物などで、社会資源を活用しています。
保護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				変更があれば都度説明して頂いています。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1			・目標はしっかり明確です。 ・いつも丁寧に説明してくれています	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19			3	親の交流案内があります。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1		1	その日の活動内容をしっかり説明して頂き、どのような行動があったか必ず話しています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			1	複数の事業所を利用していますが、1番相談しやすいと思っています。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	3	1	5	・保護者同士で話す機会もあるので、お迎えの時に話しやすい環境です。 ・保護者同士の懇談会はあるがきょうだい同士の交流の機会はないと思う	・懇談会とお父さんの会を実施しています。 ・保護者同士の交流の機会を提供しています。 ・きょうだい同士の交流の機会については、ニーズに応じて検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22				すぐに対応していただいています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			1	要望等聞いて頂き、難しい場合でも何故今できないかの説明があるので納得できています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	2		3	・案内があります。 ・法人のHPに載っていることは知っています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		2		契約時に、マニュアルについては入り口に設置していることをお伝えしていますが、内容については十分に説明が出来ていませんでした。今後お伝え出来るように努めていきたいと思ひます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21			1	定期的に防災訓練があります。	参観日に実施することで、保護者の方にも防災訓練の内容を確認して頂き、参加して頂きました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		2		安全計画については、入り口に閲覧出来るように、ファイルを設置していく予定です。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				行き渋りは今のところ全くありません。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		1	特別プログラムにも積極的に参加しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				・安心して通わせています。 ・娘はいつも楽しみに通っています。ありがとうございます。 ・これからもお世話になりたいです。たくさん施設を見学しましたが1番良かったです。	